

2021年度からの社会人連盟(JSB)チームスタッフの新規定について

既にJSB主催大会での上位大会では、チームスタッフ新規定で運用を行っております。各都道府県連盟も上位大会と同様に2021年度からチームスタッフを新規定で運用を行うことになりました。

2021年4月開始でのJBA登録時点で、下記のチームスタッフの新規定で登録すること。

原則、②ヘッドコーチと③ファースト・アシスタントコーチの最低2名はJBA登録をすることとし、同一人物としないこと。各種大会エントリーも同様とする。

現行のスタッフ規定 ～2020年度		チームスタッフ新規定 2021年度～		必須ライセンス	
チ ー ム ス タ フ	①	監督	①	監督	
	②	コーチ	②	ヘッドコーチ	D級
	③	アシスタントコーチ	③	ファースト・アシスタントコーチ	E級※1
	④	マネージャー	④	アシスタントコーチ	
	⑤	その他	⑤	マネージャー	
	⑥	その他	⑥	その他※2	

◆①～⑥の役職名で登録すること。

※1) 2021年度は移行期間とする。2022年度からは県内大会全てを適応とし、ベンチ入りを必須とする。但し、地域リーグ・ブロック大会・全国大会は2021年度より必須となる。

※2) その他とは上記表中の①～④以外の役職とする。(例: 部長、顧問、トレーナー、マネージャー等)

②ヘッドコーチの役割について (原則: 大会エントリー済みである)

●JBA公認コーチライセンスの取得が必須

どの大会もJBA公認E-2級は不可(コーチライセンス所持者としての効力なし)

県内(県予選)の大会では、JBA公認E級又はJBA公認E-1級のライセンスでも構わない。

JSB主催ブロック大会以上では、JBA公認D級以上のライセンスが必須となる。

●試合開始前にスタートチェックする。(①監督③ファースト・アシスタントコーチ④アシスタントコーチは出来ない)

●スコアシートにサインをする。(①監督③ファースト・アシスタントコーチ④アシスタントコーチは出来ない)

●実際にベンチで指揮を執る。(①監督③ファースト・アシスタントコーチ④アシスタントコーチは出来ない)

注) 但し、大会エントリーのヘッドコーチが不在となった場合は、エントリー変更の者が上記を代役できる。

エントリー変更の者も、各種大会規定の必要階級以上のJBA公認コーチライセンスが必要となる。

チームスタッフのエントリーを変更する場合は、所定書式にて提出すること。

チームベンチにJBA公認コーチライセンス所持者が居ない場合は、没収試合となる大会がある。

※①～④は同じ役職の者が複数とならないこと。

×の例その1 : 監督 松山太郎 ヘッドコーチ 松山太郎

×の例その2 : ヘッドコーチ 松山太郎 ファーストアシスタントコーチ 松山太郎

×の例その3 : ファーストアシスタントコーチ 松山太郎 アシスタントコーチ 松山太郎

※JBA登録上や大会エントリー上での帯同審判は、チームスタッフではありません。チームに帯同する審判員のことです。

ESB競技委員長: 三浦健二